

2021年(令和3年)7月21日 水曜日

岐阜新聞

コロナ下にできること

記者
ノート

デジタル報道部

稻木悠司

環境に左右されず努力する人は輝いている。飛騨市古川町の老舗造り酒屋で働くインドネシア出身のエン・ヤスミンさん(23)は、同郷の外国人技能実習生の相談役を市から任せられている。知らない国で働くことになっても、ヤスミンさんのような人がいれば緊張が和らぐだろう。

ロナで増すばかりだ。ヤスミンさんは就職活動中だった昨夏、一時帰国していた古里から日本に戻れなくなつた。リモートで就職活動に励み現在の造り酒屋で働き始めたが、今度は感染力の強い変異株が母国で猛威を振るい、故郷を憂う日が続く。ヤスミンさんは「飛騨は憧れの伝統文化が残る大好きな土地。少しでも手伝いたい」と、頼りがいのある笑顔で話した。「今できること」として、ごみ出しのパンフレットをインドネシア語に翻訳した。感染が終息し、小さな取り組みが多くて実習生を助ける日が来てほしい。